



# バンコク便り



## 1. はじめに

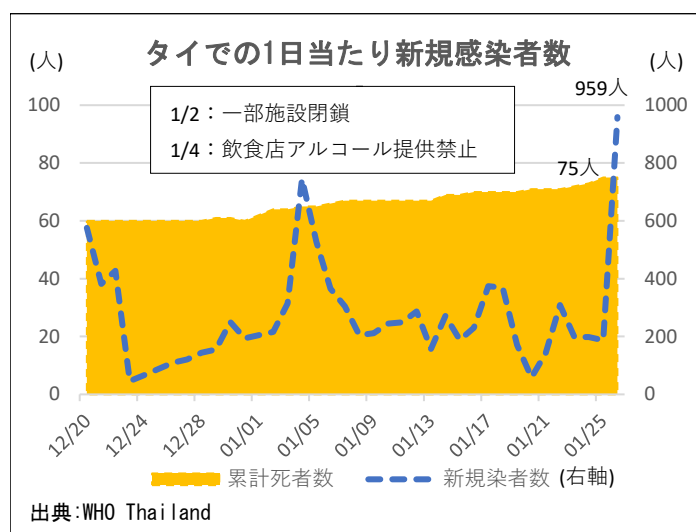
遅ればせながら、明けましておめでとうございます。昨年のタイはロックダウンや夜間外出禁止、商業施設の閉鎖など、これまで経験したことがない1年となりました。非常事態宣言は2月末まで再延長されることになり、初回の発令から約1年という長期間に及んでいます。

最近のバンコクでは朝晩に20℃前後まで気温が下がる「寒い」日もありました。乾季でもあるこの時期は、例年であれば世界中から観光客が訪れるハイシーズンですが、昨年までの様子と比べると非常に静かとなっています。それでは今年も当地ならではの情報をお届けいたします。

## 2. 当地ビジネス情報

### (①新型コロナウイルス最新情報)

昨年末にバンコク西郊サムットサコーン県で発生した大規模クラスターの影響で、新年早々、一部店舗の閉鎖や教育機関の休校、飲食店でのアルコール提供禁止措置などが取られました。バンコクを含む28都県が高度管理地域（レッドゾーン）に指定され、そのうちサムットサコーン県や多くの日系企業があるチョンブリ県、ラヨン県など5県では移動等が制限されています。また店舗への入退店時にQRコードを読み取る管理システム「タイチャナ (Thaichana)」に加えGPS情報から個人の行動履歴を特定できるアプリ「モーチャナ (MorChana)」のダウンロードなどが要請されています。



ダウンロード推奨アプリ「モーチャナ」

1月終盤に差し掛かり大部分の地域で新規感染者数は落ち着き、バンコクでは22日からはタイ式マッサージやスポーツクラブなどの営業が再開されました。今回の第2波は昨春の第1波より感染者が多く、制限期間が長引くと懸念されましたが、早期の対応により予想以上に早く収束しつつあります。タイでも2月よりワクチン接種がスタートとの報道がある一方で、タイの観光収入をコロナ禍前の80%程度に戻すには2022年まで待たないといけないとの見方もあり、活気のあるタイに戻るにはもうしばらく時間がかかりそうです。

## 3. 現地トピックス

### (夢の5ツ星高級ホテルステイ)

世界中から観光客が訪れるタイには、有名5ツ星ホテルが数多くあります。日本では1泊数万円程のホテルでもタイではリーズナブルな料金で宿泊できることはご存じでしょうか。現在は第2波流行により国内旅行は少し落ち着いていますが、顧客獲得のための価格競争などがあり、無料スパやラウンジ利用付きプランなどはリゾート気分を味わえ、在タイ日本人の間でも大人気だったようです。

タイ国政府観光庁ではコロナの状況が改善した場合に備え、外国人観光客向けのパッケージプランを計画しているとの報道もあります。今後の状況はまだ不透明ですが、自由な渡航が再開された際には、ビジネスはもちろん、観光でもまずはタイを目指してみたいはいかがでしょうか。



5ツ星ホテルのプールサイド

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)